

マテリアリティ進捗報告

2021年度

日本ハム株式会社

2022年6月

マテリアリティ進捗報告（2021年度）

2021年2月、ニッポンハムグループは「Vision2030」の実現に向けて優先的に解決すべき社会課題を「5つのマテリアリティ（重要課題）」として特定しました。そして持続可能な社会の実現に向けて「5つのマテリアリティ」を達成するための施策・指標を決定し、取り組みを推進しています。

こちらでは定量目標があるものを中心に、2021年度の進捗を報告します。

たんぱく質の安定調達・供給



施策	指標	2021年度実績
CSR調達の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・2030年度までに重要な一次サプライヤーへの方針周知とSAQ実施。目標100% ・重要な二次サプライヤーへの方針周知とSAQ実施 ※SAQ・・・自己評価アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な一次サプライヤーへのSAQ実施率 99.4% ※対象範囲：日本ハム（株）、日本ルナ（株）、（株）宝幸、マリンフーズ（株） ・海外の重要な一次サプライヤーへの方針周知は実施中。
アニマルウェルフェアに配慮した取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国内全農場の妊娠ストールの廃止（豚）（2030年度末まで） ・国内全処理場内の係留所への飲水設備の設置（牛・豚）（2023年度末まで） ・国内全農場・処理場への環境品質カメラの設置（2023年度末まで） ※ニッポンハムグループが資本を過半数保有する企業が対象 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッポンハムグループ アニマルウェルフェアポリシー・ガイドラインを制定 ☞アニマルウェルフェアポリシー・ガイドラインはこちら ・国内全農場の妊娠ストールの廃止（豚） 進捗率：9.5% ※飼育頭数における割合 ・国内全処理場内の係留所への飲水設備の設置（牛・豚） 進捗率：「牛」50.0% 「豚」62.5% ※工場数における割合 ・国内全農場・処理場への環境品質カメラの設置 カメラの設置に向けた場所の選定中
植物由来のたんぱく質商品の拡充拡販	2030年度 出荷金額：100億円	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷金額：2.3 億円（昨比128.1%） ☞植物由来原料使用の主力商品「ナチュミートシリーズ」のブランドサイトはこちら
第三者認証の取得推進（FSSC22000、SQF、BRC、JFSなど）	※策定中	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者認証取得数：142件 ☞取得認証の詳細はこちら
専門技術認定をはじめ研修を通じた人材育成	※策定中	<ul style="list-style-type: none"> ・e-ラーニング修了者：3,753名 ・基礎技術研修修了：70名 ・新規認定専門家合格者：4名 ・新規食品表示検定合格者：91名 ☞品質保証技術向上のための人材育成についてはこちら

食の多様化と健康への対応



施策	指標	2021年度実績
食物アレルギー関連商品の拡充及び啓発	2030年度 出荷金額40億円	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷金額実績：10.8億円 ☞食物アレルギー対応商品一覧はこちら ・食物アレルギーケア総合プラットフォーム「Table for All」サービス開始 ☞「Table for All」のサイトはこちら
認知機能を改善する新たな素材の研究と商品化	2026年度までに年間300万食相当を供給	<ul style="list-style-type: none"> ・疲労感の軽減と記憶力の維持を目的とした機能性表示食品IMIDEA（イミディア）発売開始（2021年12月1日～）
健康に寄与する商品の開発	※策定中	<ul style="list-style-type: none"> ・健康志向に対応した商品数：64アイテム

持続可能な地球環境への貢献



施策	指標	2021年度実績
化石燃料由来のCO ₂ 排出量の削減	2030年度までに46%以上削減（2013年度比） 2030年度目標削減値：253,239 t-CO ₂ 基準値：550,518 t-CO ₂	削減量：70,453 t-CO ₂ 進捗率：27.8%
廃棄物排出量の削減	2030年度までに5%削減 （2019年度比：製造数量当たりの原単位） 2030年度目標削減値：6.7 kg/t 基準値134.6 kg/t	削減量：9.9 kg/t 進捗率：147.8%
廃棄物排出量リサイクル率の向上	2030年度までにリサイクル率92%以上	リサイクル率：93.0%
水使用量の削減	2030年度までに5%削減 （2019年度比：製造数量当たりの原単位） 2030年度目標削減値：0.8 m ³ /t 基準値：15.2 m ³ /t	削減量：0.2 m ³ /t 進捗率：25.0%
認証パーム油への切り替え	2030年度までにRSPO認証パーム油 使用率100%（ブックアンドクレーム含む）	使用拠点・商品を検討中
環境配慮型資材（再生素材やバイオマス素材等）の使用や包装資材等の使用量削減	※策定中	実績集約中

食やスポーツを通じた地域・社会との共創共栄



施策	指標	2021年度実績
スポーツを通じた地域共創の活動の推進 （北海道新球場、スポーツ教室、食育教室など）	※策定中	実施件数：198件 参加人数：38,336人 活動経費：439,457千円
文化的活動を含めた地域貢献活動の推進 （地域イベントへの協力や清掃活動など）		実施件数：246件 参加人数：1,742人 活動経費：186,994千円
食を通じた社会福祉活動の推進 （フードバンクや子ども食堂への食材提供など）		実施件数：145件 活動経費：21,490千円
食育等を通じた次世代育成の支援 （出前授業、キャリア教育支援、手作り体験教室など）		実施件数：60件 参加人数：10,602人 活動経費：4,915千円

従業員の成長と多様性の尊重



施策	指標	2021年度実績
<ul style="list-style-type: none"> 仕事に対するやり甲斐の支援 挑戦できる組織風土の醸成 公正な評価と処遇への取り組み など 	※策定中	【公正な評価と処遇への取り組み】※日本ハム（株） ・MBO（目標管理制度）評価対象者の比率：100.0% 【女性活躍の推進】※日本ハム（株） ・女性従業員比率：28.4%※正規従業員のみ ・女性管理職比率：8.5% 【育児、介護、障がい者など支援の取り組み推進】 ※日本ハム（株） ・育児休業からの復職率：98.5% ・障がい者雇用率：2.7%
<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍の推進 育児、介護、障がい者など支援の取り組み推進 総労働時間の削減 人権デューデリジェンス体制の構築 など 		